

「いま、SSに熱い心」

時代の変化に対応勉強会

—CAL研究会—

今年2回
目の同勉強

【大阪】CAL研究会は4月19、20日、大阪市内で「CAL研究会」(勉強会)を開催した。

会は「いま、SSに求められる熱い心」をテーマに、全国から20社ほど、約50人が参加した。

初日には同会の生川正洋氏が「いま、SSに求められる熱い心」と題し講演。「平成最後の研究会。新しい時代も希望をもって迎えたいが、超高齢化やGDPの低迷など、30年後には厳しい社会になる。時代が変化するスピードはどんどん速くなる。生き残るのではなく勝ち残るためには、いますぐ手を打たなければならぬ。厳しい時代だからこそ熱い心を持って前進すべき」と話し、TCS(トータルカーライフ

サービス)事業やカーリースに取り組む重要性、人材育成の必要性など熱弁した。

続いて智頭石油(鳥取県智頭町)の米井哲郎社長ら担当者が「SSと顧客をつなぐアプリの開発」と題し、同会の新システム―近日公開予定のSSショックアプリケーション「CALマイピット」

や現在開発中の法人向けアプリ「CALおまかせカーメンテ」(社有車資料管理システム)、「CALロケ」(営業車位置情報システム)について説明。また、同社も活用しているカーシェアリングシステム「CALカーシェアリング」の概要や普及動向、カーシェア需要獲得の必要性などにも言及した。

同社の米井林太郎石油部長が「インド視察レポート」と題し、今春に実施したインド4

都市の視察

について講

演した(詳

細は4月18

日付「中国

・四国版」

で既報)。

目見田商

事(兵庫県宝塚市)目見田純也代表は「まだまだ続く目見田石油の挑戦」満足よりも感動、判断よりも決断―人間中心主義のSS運営―」をテーマに、車検を中心としたTCS事業の内容や顧客獲得戦略、組織力やコミュニケーションの重要性、新たな取り組みなどを語った。

そのほか同会のSSが積極的に販売を手がける超小型EV「コムス」の改善対策など、エムコ(東京都新宿区)の坂本英一代表が説明した。



講演する生川氏